

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」
世界遺産一覧表への記載決定に当たっての
松野 博一 文部科学大臣談話

ポーランドのクラクフで開催されている第41回世界遺産委員会において、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が、人類全体の貴重な遺産として世界遺産一覧表に記載されることが決定されたことを大変喜ばしく思います。

また、関係者の熱心な説明により、本資産が古代から連続と受け継がれてきた信仰を現代まで伝える遺産であることについて世界遺産委員会の理解が得られ、最終的に全ての構成資産を登録できたことを心から喜んでいます。

改めて、貴重な文化財を今日まで大切に守り伝えてこられた地域の人々や、関係者の皆様方のご努力に心からの敬意を表します。

文部科学省としては、地元の関係各位と連携しながら、人類の共通の宝である貴重な世界遺産の保護に万全を期し、後世に確実に引き継ぐとともに、積極的に発信してまいります。